

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ルピナス戸室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 22日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動、療育を用意している。 →運動療育や音楽療育、また工作などの微細運動、他児との関わりなどを目的とした様々な活動に取り組んでいる。	職員で様々な意見を出し合い、児童によりよい活動が提供できるように話し合いを持っている。	現状、常勤職員がメインでプログラム編成を行っているので、さらに活動の幅が広がるように非常勤職員の声も聞きながら活動編成を進めていきたい。
2	児童を多角的に見て、得意はさらに伸ばし、苦手な事はスモールステップで向き合えるような環境づくりをしている。	・児童に寄り添った形で支援を行っている。出来たことに関しては褒めて自信や自己肯定感につなげる、苦手な事は嫌がることのないようにスモールステップで支援を行っている。 ・児童の様子について定期的に意見交換などを行い、得意な事や苦手な事、配慮事項などを共有している	課題には本人に配慮したペースで取り組む。課題にだけ向き合うのではなく、ストレングスに向き合えるような支援をして、自信や自己肯定感向上からいろいろなことにチャレンジしたいと思えるようなきっかけをつくっていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながり、事業所間における連携が弱い。	・地域イベント等の情報収集が不足しており、現状参加が出来ていない。 ・現状、事業所間における連携が弱く、地域で育てるということができていない。	・参加ができそうなイベントのピックアップ。そして実際に参加できるように企画運営する。 ・自ら他事業所や市のセンター、療育センター等に積極的にアプローチして、繋がりを作り、児童のよりよい支援に繋げる。
2	保護者同士が関わる機会がない。職員との関わり合いも強くない。	・保護者会等が今年度開催できていない。 ・情報交換等は、面談や保護者からの相談時、また送迎時等には行っているが、正直機会としては少ないと感じている。	・来年度は保護者会等の場を設けることができるように前向きに検討していきます。 ・こちらから保護者の方へのアプローチをもう少し積極的に行っていきたい。